

PM による研究開発機関の追加について

平成 28 年 9 月 8 日

内閣府 ImPACT 室

「革新的研究開発推進プログラム運用基本方針」(平成 26 年 2 月 14 日総合科学技術会議)に定めるとおり、研究開発機関の選定は、一義的にプログラム・マネージャー (PM) の権限であるが (有識者会議への報告は必要)、PM に関係する機関 (PM との利害関係機関など) を選定する場合は、推進会議による承認が必要 (当該機関の必要性、合理性、妥当性を判断)。

今回、3 名の PM が 6 件の研究機関の追加を計画しており、PM に関係する機関が含まれていないため、有識者会議で確認を求めるもの。

PM	追加予定機関数	うち指名によるもの	PM 関係機関及び PM との関わり
野地	4(0)	0(0)	-
原田 (香)	1(0)	1(0)	-
藤田	1(0)	1(0)	-
合計	6(0)	2(0)	

() : PM 関係機関数

・野地 PM

プロジェクト 1 「「はかる」人工細胞デバイス」において、当初計画より予定していた新規臨床遺伝子診断法について公募を行い、1 機関を選定。また、プロジェクト 3 「「ふえる」人工細胞デバイス」において実現を目指す人工ゲノムの微生物への導入・起動の達成に向け、実現が期待できるアイデアと技術を有した 3 機関を公募により選定。

(追加研究機関)

実施プロジェクト	研究機関名	研究代表者名
1. 「はかる」人工細胞デバイス	東京工業大学 情報理工学院	小宮 健
3. 「ふえる」人工細胞デバイス	理化学研究所 環境資源科学研究センター	吉積 毅
	大阪大学 情報科学研究科	市橋 伯一
	中央大学 理工学部	鈴木 宏明

・原田（香）PM

プロジェクト4「サービスロボット産業応用」において、プロジェクト1「バイオニックヒューマノイド」で開発する要素技術を展開して、ロボットとの接触に伴う人の感覚を定量評価できるダミーモジュールの開発を行うに当たり、安全性評価や感性価値の可視化・定量化技術を持った当該機関を非公募（指名）により選定。

（追加研究機関）

実施プロジェクト	研究機関名	研究代表者名
4．サービスロボット産業応用	パナソニック株式会社	渡邊 竜司

・藤田 PM

プロジェクト4「核変換システム評価と要素技術開発」で取り組んでいる核変換技術の1つであるミュオン触媒プラズマ核融合反応に対し、理論的可能性を評価する目的で1機関を非公募（指名）により選定。

（追加研究機関）

実施プロジェクト	研究機関名	研究代表者名
4．核変換システム評価と要素技術開発	東北大学 大学院理学研究科	木野 康志

以 上